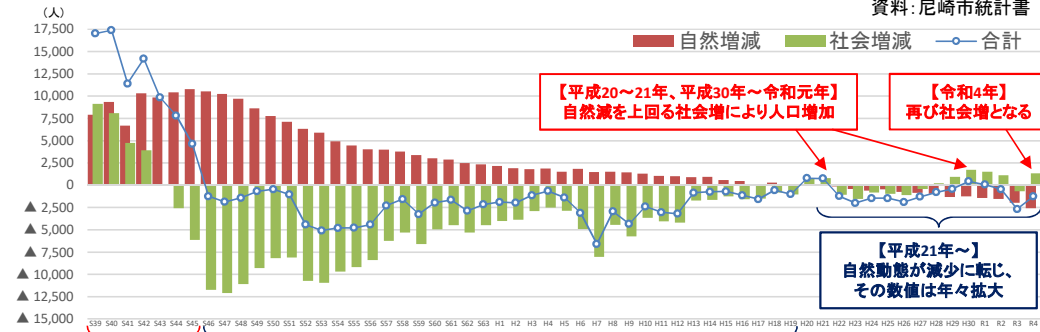


【概要版】人口動態等に関する報告書（令和4年度版）

○ 尼崎市の人口動態



【昭和39年～昭和45年】
人口増

【昭和46年～平成19年】
自然増を上回る社会減により人口減少

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 市	442	76 ▲	442 ▲	2,672 ▲	1,253 ▲
中央地区	▲ 87	▲ 58	▲ 46	▲ 167	▲ 258
小田地区	▲ 59	▲ 230	▲ 571	▲ 833	105
大庄地区	▲ 445	▲ 426	▲ 302	▲ 655	▲ 708
立花地区	▲ 135	▲ 30	29	▲ 546	▲ 385
武庫地区	62	▲ 93	▲ 51	▲ 409	▲ 473
園田地区	1,106	913	499	▲ 62	666

資料：尼崎市人口月報

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 市	▲ 1,258	▲ 1,441	▲ 1,537	▲ 1,993	▲ 2,578
中央地区	▲ 437	▲ 432	▲ 446	▲ 439	▲ 562
小田地区	▲ 350	▲ 370	▲ 374	▲ 466	▲ 585
大庄地区	▲ 405	▲ 387	▲ 399	▲ 485	▲ 495
立花地区	▲ 150	▲ 284	▲ 353	▲ 490	▲ 509
武庫地区	▲ 15	▲ 83	▲ 43	▲ 110	▲ 230
園田地区	99	115	78	▲ 3	▲ 197

資料：尼崎市人口月報

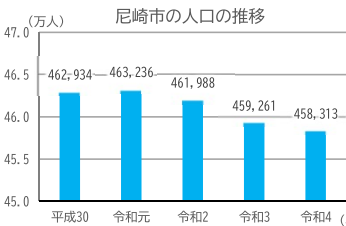
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 市	1,700	1,517	1,095	▲ 679	1,325
中央地区	350	374	400	272	104
小田地区	291	140	▲ 197	▲ 367	690
大庄地区	▲ 40	▲ 39	97	▲ 170	▲ 213
立花地区	15	254	382	▲ 56	124
武庫地区	77	▲ 10	▲ 8	▲ 299	▲ 243
園田地区	1,007	798	421	▲ 59	863

資料：尼崎市人口月報

○ 地区別人口の状況

1 人口

市全体でみると、令和元年度は前年と比べて増加したが、令和2年度以降は減少が続いている。平成30年度から令和4年度にかけて、1.0%減少（▲4,621人）している。地区別にみると、平成30年度から令和4年度にかけて、園田地区のみ増加しており、1.7%増加（1,618人）となっている一方で、その他5地区では減少しており、大庄地区は4.0%減少（▲2,136人）となり、最も高い減少率となっている。



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	変化（H30-R4年度）	
						実数	増加率
全 市	462,934	463,236	461,988	459,261	458,313	▲ 4,621	▲ 1.0%
中央地区	52,941	52,847	52,752	52,346	52,116	▲ 825	▲ 1.6%
小田地区	75,767	75,378	74,787	74,207	74,408	▲ 1,359	▲ 1.8%
大庄地区	53,561	53,147	52,891	52,003	51,425	▲ 2,136	▲ 4.0%
立花地区	108,007	108,129	107,996	107,473	107,051	▲ 956	▲ 0.9%
武庫地区	76,360	76,501	76,218	75,766	75,397	▲ 963	▲ 1.3%
園田地区	96,298	97,234	97,344	97,466	97,916	1,618	1.7%

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

2 65歳以上の人口

市全体でみると、平成30年度から令和4年度にかけて、1.2%減少（▲1,539人）している。地区別にみると、平成30年度から令和4年度にかけて、中央地区、小田地区、大庄地区の南部3地区での減少が目立つ。

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	変化（H30-R4年度）	
						実数	増加率
全 市	127,410	127,749	127,585	126,887	125,871	▲ 1,539	▲ 1.2%
中央地区	15,993	16,045	16,030	15,927	15,748	▲ 245	▲ 1.5%
小田地区	21,785	21,784	21,637	21,432	21,196	▲ 589	▲ 2.7%
大庄地区	17,207	17,072	16,914	16,708	16,421	▲ 786	▲ 4.6%
立花地区	29,385	29,514	29,549	29,461	29,234	▲ 151	▲ 0.5%
武庫地区	19,708	19,838	19,852	19,421	19,888	180	0.9%
園田地区	23,332	23,496	23,603	23,517	23,384	52	0.2%

資料：尼崎市の人口（住民基本台帳人口）

○ 人口動態の状況

1 地区別単身・二人世帯における社会動態

(1) 単身世帯の傾向

市全体でみると、平成30年以降、転入超過の傾向が続いている。令和3年は転入超過数が大幅に減少したが、令和4年は大幅に増加している。地区別にみると、平成30年以降は、中央地区、小田地区、立花地区、武庫地区、園田地区で転入超過の傾向が続いている。また、大庄地区は、令和元年に転入超過に転じたものの転出超過の傾向が続いている。

(2) 二人世帯の傾向

市全体でみると、平成30年以降、転入超過の傾向が続いている。令和3年は転入超過数が大幅に減少したが、令和4年は大幅に増加している。地区別にみると、大庄地区で令和元年と令和3年に、武庫地区で令和4年度に転入超過が見られるほかは、すべての地区で転入超過となっている。

● 単身世帯の社会動態 (単位：人)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 市	1,389	2,100	1,736	771	1,697
中央地区	302	331	425	369	281
小田地区	246	240	105	25	447
大庄地区	▲ 8	65	▲ 14	▲ 93	▲ 81
立花地区	316	634	552	267	443
武庫地区	85	54	129	63	17
園田地区	448	776	539	140	590

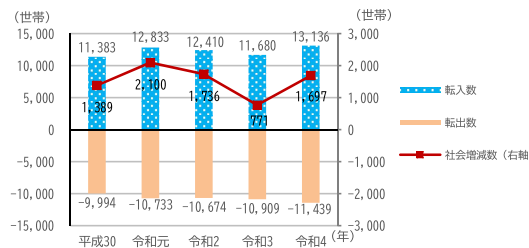
資料：尼崎市都市政策課

● 二人世帯の社会動態 (単位：人)

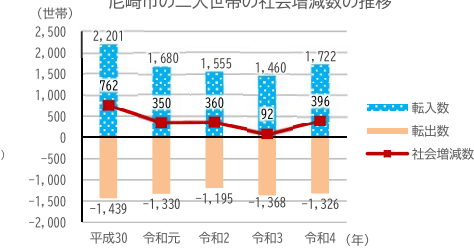
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
全 市	762	350	360	92	396
中央地区	26	26	54	15	3
小田地区	120	66	27	8	166
大庄地区	62	▲ 17	71	▲ 7	39
立花地区	92	86	77	20	37
武庫地区	161	89	80	14	▲ 27
園田地区	301	100	51	42	178

資料：尼崎市都市政策課

ニ崎市の単身世帯の社会増減数の推移



ニ崎市の二人世帯の社会増減数の推移



2 10歳階級別、転入元・転出先別 社会動態

平成30年から令和4年にかけての社会動態を10歳階級別にみると、特に20歳代で大幅な転入超過の傾向が続いている。一方、10歳未満は、大幅な転出超過が続いている。また、30歳代は令和元年以降、転入超過が続いており、その中でも令和3年は大幅な転入超過となっている。

また、自治体別の本市への移動状況を見ると、神戸市及び西宮市で毎年転入超過となっている。一方、伊丹市及び東京圏で、毎年本市からの転出超過となっている。宝塚市においても伊丹市と同様の傾向であるが、令和3年以降は転入超過となった。

10歳階級別社会動態（転入－転出） (単位：人)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
総 数	1,687	1,223	928	▲ 456	891
0～9歳	▲ 471	▲ 595	▲ 569	▲ 613	▲ 540
10～19歳	167	213	171	50	99
20～29歳	1,645	1,803	1,309	1,016	1,352
30～39歳	93	▲ 90	▲ 151	▲ 434	▲ 47
40～49歳	83	▲ 69	▲ 102	▲ 222	28
50～59歳	111	43	100	▲ 16	253
60歳以上	59	▲ 82	▲ 34	▲ 236	▲ 252

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(注1) 数値には外国人の移動を含む。

(注2) 「総数」は転出先・転入元・年齢不詳等を含み年齢別の合計と合わないことがある。

転入元・転出先別社会動態（転入－転出） (単位：人)

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
総 数	1,687	1,223	928	▲ 456	891
神戸市	500	513	422	250	561
明石市	49	▲ 20	▲ 37	47	▲ 21
西宮市	342	▲ 87	146	20	103
伊丹市	▲ 226	▲ 40	▲ 124	▲ 290	▲ 85
宝塚市	▲ 10	▲ 96	▲ 41	27	13
大阪市	201	5	▲ 13	▲ 123	209
豊中市	13	20	▲ 47	▲ 59	32
東京圏	▲ 584	▲ 762	▲ 421	▲ 484	▲ 404
その他	1,402	1,516	1,043	156	483

資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(注1) 数値には外国人の移動を含む。

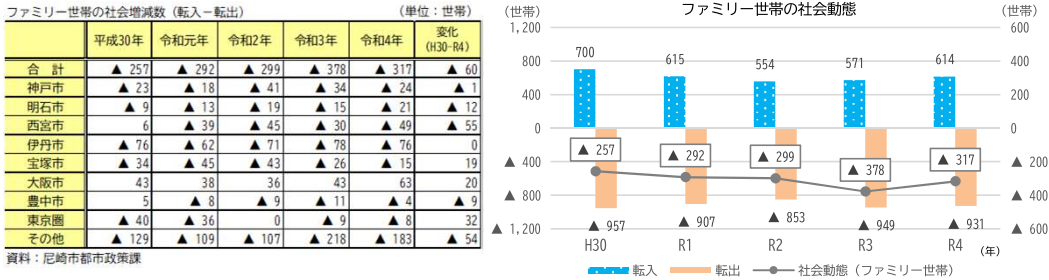
(注2) 「総数」は転出先・転入元・年齢不詳等を含み地域別の合計と合わないことがある。

○ ファミリー世帯（5歳未満の子どもがいる世帯）の状況

1 転入元・転出先別 社会動態

ファミリー世帯については、平成30年から令和4年にかけて、下表に記載しているほぼ全ての自治体で本市からの転出超過となっている。神戸市、明石市、伊丹市及び宝塚市へは毎年ファミリー世帯の転出超過が続いている。

一方、大阪市からは毎年転入超過の状態にあり、その超過数は40世帯前後で推移していたが、令和4年では約60世帯と微増した。



2 町丁目別 社会動態

平成30年から令和4年にかけて転入超過が目立つ町丁目は、小田地区において、令和4年の「長洲西通1丁目」、園田地区において、平成30年の「上坂部1丁目」、令和2年の「東塚口町1丁目」、令和4年の「小中島1丁目」である。

一方、同期間に転出超過が目立つ町丁目は特にないが、広い範囲で転出超過が生じている状況である。

町丁目別 ファミリー世帯の転入超過数 (上位5位, 単位: 世帯)

地区	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
中央地区	北竹谷1丁目 16	東灘波町4丁目 14	西大物町 16	北大物町 7	西灘波町6丁目 5
小田地区	下坂部3丁目 25	長洲北通3丁目 10	長洲中通3丁目 8	長洲中通3丁目 7	長洲西通1丁目 72
大庄地区	津路3丁目 6	大庄西町4丁目 6	大庄北1丁目 6	大庄北5丁目 7	大庄2丁目 5
立花地区	富松町1丁目 37	富松町3丁目 6	富松町4丁目 10	富松町2丁目 10	南武庫之荘2丁目 8
武庫地区	武庫之荘7丁目 10	武庫之荘4丁目 12	武庫之荘2丁目 7	武庫之荘本町2丁目 7	武庫之荘5丁目 6
園田地区	上坂部1丁目 102	南塚口町4丁目 22	南塚口町1丁目 48	南塚口町6丁目 28	小中島1丁目 58

町丁目別 ファミリー世帯の転出超過数 (上位5位, 単位: 世帯)

地区	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
中央地区	東灘波町5丁目 ▲9	東灘波町3丁目 ▲9	東灘波町5丁目 ▲10	新園町 ▲7	西灘波町2丁目 ▲6
小田地区	瀬江5丁目 ▲18	浜2丁目 ▲7	瀬江5丁目 ▲19	瀬江1丁目 ▲16	瀬江1丁目 ▲13
大庄地区	大庄中通1丁目 ▲15	大庄西町2丁目 ▲7	大庄中通1丁目 ▲6	大庄中通1丁目 ▲6	大庄中通1丁目 ▲6
立花地区	南武庫之荘2丁目 ▲20	南武庫之荘2丁目 ▲23	南武庫之荘3丁目 ▲22	津路本町1丁目 ▲18	上ノ島町1丁目 ▲18
武庫地区	南武庫之荘2丁目 ▲15	南武庫之荘2丁目 ▲15	南武庫之荘2丁目 ▲15	南武庫之荘2丁目 ▲15	南武庫之荘2丁目 ▲15
園田地区	南武庫之荘7丁目 ▲10	南武庫之荘7丁目 ▲10	南武庫之荘7丁目 ▲10	南武庫之荘7丁目 ▲10	南武庫之荘7丁目 ▲10

資料: 尼崎市都市政策課
(注1) 市内転入による地区間移動を含む
(注2) 4世帯以下の町丁目は、上位5位内でも省略

○ 在留外国人人口の状況

1 在留外国人人口

市全体でみると、平成30年度から令和4年度にかけて、7.8%増加(900人)している。地区別にみると、平成30年度と令和4年度を比較すると、武庫地区を除く5地区において増加しており、園田地区での増加率が最も高く、17.3%増加(335人)しており、続いて中央地区の10.5%増加(195人)、立花地区の8.5%増加(192人)の順で高くなっている。一方、武庫地区では2.5%減少(▲47人)している。

在留外国人人口 (各年度末現在) (単位: 人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	変化 (H30-R4年度)	
						実数	増加率
全市	11,468	11,962	11,986	11,601	12,368	900	7.8%
中央地区	1,866	1,918	1,992	1,921	2,061	195	10.5%
小田地区	1,605	1,665	1,682	1,602	1,733	128	8.0%
大庄地区	1,895	1,979	2,016	1,908	1,992	97	5.1%
立花地区	2,263	2,378	2,375	2,328	2,455	192	8.5%
武庫地区	1,905	1,928	1,846	1,811	1,858	▲47	▲2.5%
園田地区	1,934	2,094	2,075	2,031	2,269	335	17.3%

資料: 尼崎市の人口 (住民基本台帳人口)

2 (参考) 国別在留外国人人口

国別外国人人口 (単位: 人)

	総数	韓国	ベトナム	中国	フィリピン	ネパール	ブラジル	台湾	米国	その他
H30	11,333	6,649	1,002	1,669	372	116	148	126	125	1,126
R1	11,839	6,513	1,330	1,772	411	131	155	165	116	1,246
R2	12,095	6,398	1,635	1,763	438	131	156	170	118	1,286
R3	11,998	6,214	1,741	1,713	468	160	150	159	112	1,281
R4	12,351	6,106	1,780	1,681	478	397	157	151	115	1,486
差引き (H30-R4)	1,018	▲543	778	12	106	281	9	25	▲10	360

資料: 出入国在留管理庁「在留外国人統計」各年6月末。

